

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|--|---|---|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | - | - |
| | | 商店街（代表者） | ・農作物の生育が順調であることから、需要が高まることが期待される。 |
| | | 百貨店（広報担当） | ・夏のボーナスの微増や子ども手当の支給などのプラス要素が、今後消費につながる。 |
| | | 百貨店（販促担当） | ・価格施策や顧客ニーズに合わせた提案と催事を開催しているため、来客数の回復傾向がしばらく続く。 |
| | | コンビニ（店長） | ・低価格商品の品ぞろえを強化しているため、客単価は低迷しているが、来客数は前年並みをクリアしている。子ども手当による効果が出てきており、今後、消費は回復に向かう。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・久々に来店する客が増加するなど、スーツのマーケットが動き始めており、今後は、天候にも左右されるが、長期間続いていた売上不振からの脱却が期待できる。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・高単価商品が動き出したことに加え、買上点数も回復傾向にあり、確実に2年前の水準まで戻りつつあることから、今後の見通しは明るい。 |
| | | その他専門店〔酒〕（営業担当） | ・参議院選挙の影響により、飲食店の売上が一時的に落ち込むなどの不安材料はあるものの、今後は持ち直しが期待される。 |
| | | 高級レストラン（支配人） | ・客単価、来店回数共に持ち直しの動きがしばらく続く。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | ・駅前地区において、他社のゲストハウスと当ホテルのチャペルのオープンが重なることから、今後、競争激化は避けられないものの、相乗効果が期待できる。 |
| | 通信会社（営業担当） | ・他の業界や雇用環境は依然として低調なものの、当業界は回復傾向にあるため、今後の商戦に期待できる。 | |
| | その他住宅〔リフォーム〕（従業員） | ・今後、大々的なキャンペーンを実施するため、来客数の増加が期待される。 | |
| | 変わらない | 商店街（代表者） | ・客の様子から、景気の底から脱したという安心感ができており、今後失業率が4%台まで低下すれば、消費は上向きに転じる。 |
| | | 商店街（代表者） | ・子ども手当が支給されても、貯蓄にまわる可能性が高いことから、小売店への効果はあまり期待できない。 |
| | | 商店街（代表者） | ・景気が上向き要因が見当たらない。 |
| | | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・参議院選挙後は、しばらく不安定な状況が続くことから、景気回復の見通しはたたない。 |
| | | 一般小売店〔医薬品〕（経営者） | ・参議院選挙はあるものの、当面は消費者の動向が変化する要因はみあたらない。 |
| | | 百貨店（営業担当） | ・消費者の節約志向は続いており、急速な景気回復は期待できない。 |
| | | 百貨店（経営者） | ・やや高額な商品の動きが良くなってきているものの、依然として客単価が低下しており、この傾向は今後しばらく続く。 |
| | | 百貨店（経営者） | ・自治体発行のプレミアム付き商品券が、前年の景気を押し上げたものの、景気が今後変化する要因はない。 |
| スーパー（経営者） | | ・競争激化により、今後も客単価の回復は期待できない。 | |
| スーパー（店長） | | ・子ども手当が支給されるが、客の財布のひもは固く、消費回復は期待できない。 | |
| スーパー（店長） | ・低価格の均一セールは好調だが、まとめ買いをする客が多く、セール以外の日の売上が落ち込んでいる。他社との価格競争も激化しており、今後も厳しい状況が続く。 | | |
| スーパー（総務担当） | ・賞与や有効求人倍率が若干改善傾向にあるものの、欧州の経済不安や、円高、株安は景気回復に悪影響を与えており、今後も消費回復は期待できない。 | | |
| スーパー（営業担当） | ・食料品の買い回りは続くため、売上の回復は当分期待できない。 | | |
| コンビニ（経営者） | ・来客数の増加により、売上は前年並みまで回復しているものの、客単価はここ5年間で最低の水準にある。買上点数は横ばいなので、客単価が落ち着かないかぎり、今後明るいさは見られない。 | | |
| コンビニ（経営者） | ・20～40歳代の男性客の昼食代は300～400円が多く、懐具合の厳しい状況は今後も続く。 | | |
| コンビニ（エリア担当） | ・店舗経営者の話からは、客の生活防衛意識に変化がないため、回復に向かうにはしばらく時間がかかる。 | | |

| | | |
|--------|-------------------------|--|
| | コンビニ（エリア担当） | ・人口減少による需要の縮小と競争激化の傾向は続く。 |
| | 衣料品専門店（経営者） | ・消費マインドは、徐々に回復するが、デフレ傾向はしばらく続くことから、単価上昇は期待できない。 |
| | 衣料品専門店（経営者） | ・前年に比べて売上が減少しており、今後もこの状態が続く。 |
| | 衣料品専門店（店長） | ・不景気で消費者は節約することに慣れており、消費回復まで至らない。 |
| | 衣料品専門店（総務担当） | ・客の先行き不安は今後も続くことから、消費回復は期待できない。 |
| | 家電量販店（店長） | ・エコポイントによる先行買いが見られるものの、終了する年末まで厳しい状況は変わらない。 |
| | 乗用車販売店（経営者） | ・エコカー購入補助金が終了する9月まで、現在の状況が続く。 |
| | 乗用車販売店（経営者） | ・エコカー購入補助金の駆け込み需要が期待される。 |
| | 住関連専門店（経営者） | ・耐久消費財の需要回復は期待できず、今後も厳しい状態がしばらく続く。 |
| | その他専門店〔呉服〕（経営者） | ・客の所得は増加していないため、今後、景気が回復する要素は見当たらない。 |
| | その他専門店〔パソコン〕（経営者） | ・受注件数は増加傾向にあるものの、利益の大幅な改善は見込めない状況が続いており、景気回復には時間を要する。 |
| | その他専門店〔食品〕（経営者） | ・口蹄疫問題が終息して消費者の安心感が戻れば、購買意欲の向上に期待できるが、参議院選挙の期間は消費を控える動きも予想される。 |
| | その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当） | ・在庫不足の状況が続くなか、海外の縫製工場の閉鎖によりコストが大幅に上昇しており、非常に厳しい状況が続く。 |
| | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） | ・参議院選挙に伴い、新たな景気対策はしばらく期待できないため、本格的な景気回復は冬の需要期までずれ込む。 |
| | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） | ・週末の販売単価が不安定な状況にあるものの、売上は現状のまま推移する。 |
| | 高級レストラン（経営者） | ・個人消費は、今後高い確率で改善が見込まれる一方で、法人需要は、更なるリストラや事業縮小を実施する企業がでてきており、期待できない。 |
| | 一般レストラン（経営者） | ・政権交代が行われたものの、予約状況から判断して、景気が回復する材料はあまり見当たらない。 |
| | 一般レストラン（スタッフ） | ・参議院選挙の結果がどのように景気に影響するのか、先行きは不透明な状況にある。 |
| | 一般レストラン（支配人） | ・低温長雨の長期予報から、主力製品のビールを含めて売上が懸念される。 |
| | スナック（経営者） | ・夏のボーナス支給により一時的な売上増加はみられるが、今後しばらくは低迷が続く。 |
| | 観光型ホテル（スタッフ） | ・旅行マインドは多少向上してきているものの、デフレの影響から、客は単価を優先する傾向がみられ、今後もこの状況が続く。 |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | ・予約の状況から、今後も厳しい状況が続く。 |
| | 旅行代理店（店長） | ・今後の予約状況は厳しく、販売量の回復は期待できない。 |
| | 通信会社（営業担当） | ・参議院選挙を控え、景気改善が見込めない。 |
| | 通信会社（営業担当） | ・景気は底入れしているが、手ごたえは感じられず、今後も厳しい状況が継続する。 |
| | 観光名所（職員） | ・予約数は、ここしばらく前年比数%減で推移しているが、更なる減少の要因も見当たらないため、今後もこの状態が続く。 |
| | 遊園地（経営者） | ・夏の賞与や子ども手当の支給により、今後消費が上向くか否かは不透明な状況にある。 |
| | 美容室（経営者） | ・来客数及び客単価の低迷は、今後もしばらく続く。 |
| | その他サービス〔自動車整備業〕（経営者） | ・ボーナス商戦も期待できず、消費者の購買意欲は低迷したまま推移する。 |
| | 設計事務所（経営者） | ・新規の受注が低迷しており、現在の状況はしばらく変わらない。 |
| | 住宅販売会社（従業員） | ・住宅受注残は、底をついてきているものの、一般物件の受注は1年先まで入っており、売上は横ばいで推移する。 |
| やや悪くなる | 商店街（代表者） | ・参議院選挙終了までは、飲食店を中心に動きが鈍くなり、売上はやや落ち込む。 |

| | | |
|--------|---------------------|--|
| | 一般小売店〔書籍〕 (経営者) | ・政治不安や、企業収益の悪化に伴う雇用不安により、消費マインドの回復する兆しが見受けられない。 |
| | 一般小売店〔雑貨〕 (企画担当) | ・消費税は引上げの議論をするだけでも、個人消費を冷え込ませる懸念があるため、景気回復は期待できない。 |
| | スーパー(経営者) | ・前年に比べ、夏のボーナスを大幅に減額、もしくは支給しない企業が増加していることから、客の購買力の低下傾向は今後も続く。 |
| | スーパー(店長) | ・2次商圏内に競合店が2店舗オープンすることから、業績への影響は避けられず、今後は厳しさを増す。 |
| | スーパー(店長) | ・近隣の店舗が改装オープンするため、当店への影響が懸念される。 |
| | スーパー(店長) | ・天候不順により果物など農作物の生育が遅れており、冷夏が予想されることから、景気の更なる悪化が懸念される。 |
| | コンビニ(経営者) | ・再就職が困難な状況が続き、求人数の増加が懸念されることから、今後も来客者数の減少傾向は続く。 |
| | コンビニ(エリア担当) | ・高速道路無料実験開始による影響で、特に幹線道路の店舗では来客数の減少が懸念される。 |
| | 乗用車販売店(経営者) | ・客の先行き不安が根強く、現在の受注状況から、市場縮小が懸念される。 |
| | 乗用車販売店(従業員) | ・自治体や国からのエコカー購入補助金の終了により、売上の減少が懸念される。 |
| | 住関連専門店(経営者) | ・客の購買意欲の低下に伴い、新築住宅の減少が予想され、新規需要が減少する。 |
| | 一般レストラン(経営者) | ・これまで比較的安定していたランチの売上が大幅に落ち込み、景気はここ20年で最悪の状況にある。今後も厳しさを増す。 |
| | 観光型旅館(スタッフ) | ・高速道路無料実験開始により、個人客の増加が見込まれるものの、団体客の回復には時間がかかる。 |
| | 都市型ホテル(経営者) | ・例年より予約率が低下しており、低下幅が拡大傾向にあることから、今後も厳しさを増す。 |
| | 都市型ホテル(スタッフ) | ・前年は大河ドラマ効果や国体の開催により宿泊部門は高い稼働率となったが、現在の予約状況から、今後は大幅な落ち込みが懸念される。 |
| 悪くなる | 観光型旅館(経営者) | ・県内及び東北からの予約数が大幅に減少しており、今後も厳しい状況が続く。 |
| | タクシー運転手 | ・乗客から、新築物件の空室率が高いという話が聞こえてきており、今後も景気が良くなる要素は見当たらない。 |
| 企業動向関連 | 良くなる | - |
| | やや良くなる | - |
| | 輸送業(経営者) | ・業種によるバラつきがあるものの、今後は物流の増加が期待できる。一方で、軽油価格の変動が激しく、先行き不透明な要素もある。 |
| | 金融業(広報担当) | ・取引先へのヒアリングでは、生産面での回復の動きが強まっており、今後、雇用等への波及が期待できる。 |
| | 広告業協会(役員) | ・大手広告会社の売上が増加しており、地元広告会社もテレビ広告を中心に多少回復の兆しが見えている。 |
| | 金属工業協同組合(職員) | ・受注単価は依然として厳しいものの、半導体関連の受注量が増えており、しばらくは現在の状況で推移する。 |
| 変わらない | 農林水産業(従業者) | ・春の天候不順により桃の生育が遅れ、販売時期がお盆時期にずれ込む予定となっており、注文数の減少や単価の低下が懸念される。 |
| | 食料品製造業(経営者) | ・原料価格は高止まりしているが、これ以上の上昇は考えられず、景気悪化の材料は見当たらない。今後、アメリカ産牛肉の輸入規制緩和が実施されれば、原材料価格の低下も期待できる。 |
| | 食料品製造業(総務担当) | ・景気が回復するような要因が見当たらない。 |
| | 出版・印刷・同関連産業(経営者) | ・景気回復のための好材料が見当たらない。 |
| | 電気機械器具製造業(企画担当) | ・サッカーワールドカップで社会的に明るい話題から、家電やスポーツ用品等の需要で景気が上向いて推移しているものの、イベントの終了でふたたび財布のひもが固くなる懸念がある。また、参議院選挙も盛り上がり欠け、景気回復のプラス要因にはならない。 |
| | 建設業(経営者) | ・当面は新築工事の受注は低迷し、リフォーム工事が中心となる。 |
| | 建設業(企画担当) | ・工事件数は、現在の状況が続く。 |
| | 金融業(営業担当) | ・景気が回復する要因が見当たらない。 |
| | 広告代理店(経営者) | ・テレビスポットの広告受注は、最悪だった前年との比較では増加傾向にあるものの、厳しい状況は今後も続く。 |

| | | | |
|--------|-----------------------|--|--|
| | 広告代理店（経営者） | ・参議院選挙の関係で多少の動きはあるものの、厳しい状況からの脱却は期待できない。 | |
| | 新聞販売店〔広告〕（店主） | ・取引先企業では、売上低迷により厳しい経営を強いられているところが多く、個人客からも家計支出を抑制しているという声が聞こえてくることから、景気が上向きには、相当の期間を要する。 | |
| | 公認会計士 | ・受注が前年を上回っている取引先企業はないことから、先行き不透明な状況が今後もしばらく続く。 | |
| | その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者） | ・低価格の飲食店が増加し、小売店の利益が圧縮され始めていることから、これまで以上に受発注が慎重になる。 | |
| | その他企業〔企画業〕（経営者） | ・住宅版エコポイントへの期待はあるが、新築に対するポイントが少ないことから、大きな効果は期待できない。 | |
| | その他企業〔工場施設管理〕（従業員） | ・半導体関連企業のリストラが一段落したものの、当面、若者の雇用不安や所得減少など厳しい状況は変わらない。 | |
| やや悪くなる | 農林水産業（従業者） | ・前年に比べ直売のさくらんぼの受注が減少しており、今後、厳しさを増す。 | |
| | 食料品製造業（経営者） | ・厳しい経済状況は当分変わらない。 | |
| | 出版・印刷・同関連産業（経理担当） | ・景気回復が見込めず、やむを得ず人員削減を始める会社も出てきており、今後更なる景気悪化が懸念される。 | |
| | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・急激な円高や、エコカー購入補助金終了の反動による受注減少が懸念される。 | |
| | 司法書士 | ・債務整理案件では過払いの件数が減少しているものの、仕事が見つからないなどの理由から自己破産申立の件数が増加しており、この傾向はしばらく続く。 | |
| | 悪くなる | | |
| 雇用関連 | 良くなる | 人材派遣会社（社員） | ・新卒採用の問い合わせが増加傾向にあるため、景気回復が期待される。 |
| | やや良くなる | 人材派遣会社（社員） | ・引き続き求人数の増加が予想され、個人所得の増加とともに景気の回復が期待される。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | ・新規の求人募集を検討している企業が増えており、景気回復が期待される。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・自動車関連の組立工場の本格稼働に伴い、求人数の増加が期待できる。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・前年に比べ、新規求人数の減少割合が縮小傾向にあり、増加となる月も出てきていることから、今後雇用情勢は上向き。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・求人数の増加と求職者数の減少の動きが続いており、就業者数の増加につながることを期待される。 |
| | 変わらない | 人材派遣会社（社員） | ・労働者派遣法が改正されても、直接雇用への移行は期待できない。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・多くの業種では、業績の見通しが立たず、採用計画を据え置かざるを得ない。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・自動車関連企業が生産設備を増強しているため、若干の雇用改善は期待できるものの、効果が現れるのはまだ先である。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・求人数が前年に比べ増加しているが、増加率が低い状況は今後も続く。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・新規求人数は、前年に比べ2か月連続の減少、有効求人数も減少傾向が続いている。さらに有効求人倍率も低下傾向が続いており、今後は予断を許さない状況となっている。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・新規求人の募集などは、当面、弱い動きが続く。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・新規求人は4か月連続で前年を上回っているものの、有効求人倍率は、当面、厳しい状況は続く。また、雇用調整を実施する事業所の休業日数は減少傾向にあるものの、雇用調整助成金を利用する事業者数の増加傾向は続く。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・業種によっては好調な業種があるものの、全体的に景気回復の兆しはみえない。 |
| | | 職業安定所（職員） | ・求人数、求職数共に前年並みに改善しており、雇用悪化の傾向は弱まっている。 |
| | やや悪くなる | 人材派遣会社（社員） | ・労働者派遣法の改正に伴い、派遣業界のマーケットは縮小傾向が続く。 |
| | | アウトソーシング企業（社員） | ・公共事業が減少傾向にあることから、雇用情勢は今後も悪化する見通しとなっている。 |
| | 悪くなる | 人材派遣会社（社員） | ・大規模事務センターへの就労打ち切りが続くため、雇用状況は悪化する。 |